

4. 鳥類調査結果

4. 鳥類

4.1 鳥類調査結果の概要

(1) 確認種

今回とりまとめを行った 20 水系 23 河川で確認された鳥類は、19 目 59 科 271 種でした。確認種数の多かった河川は、東北地方の米代川の 157 種、中部地方の天竜川の 147 種、九州地方の筑後川の 139 種などでした。

(2) 特定種

今回とりまとめを行った 23 河川で確認された特定種は、レッドデータブック絶滅危惧 IA 類に指定されているクロツラヘラサギ、コシャクシギ、レッドデータブック絶滅危惧 IB 類に指定されているサンカノゴイ、ツクシガモ、オジロワシ、クマタカ、セイタカシギ、オオセッカ等 42 種でした。特定種の確認された種数が多かった河川としては、九州地方の筑後川の 18 種、関東地方の利根川水系常陸利根川の 17 種、中部地方の天竜川および揖斐川の 16 種、東北地方の阿武隈川、米代川の 15 種などでした。

(注) 特定種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を特定種としました。

- 「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種および緊急指定種
- 環境省編「レッドリスト」掲載種(2006；鳥類)

(3) 外来種

今回とりまとめを行った 23 河川で確認された外来種は、コジュケイ、アヒル、ドバト等 14 種でした。

(注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種とは、おおそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物全てを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、困難な種があるため選定の際に考慮していません。また、外来種の選定には、資料 I.6 (26～27 ページ) および 28 ページに掲載した文献と学識者による意見を参考に行っています。